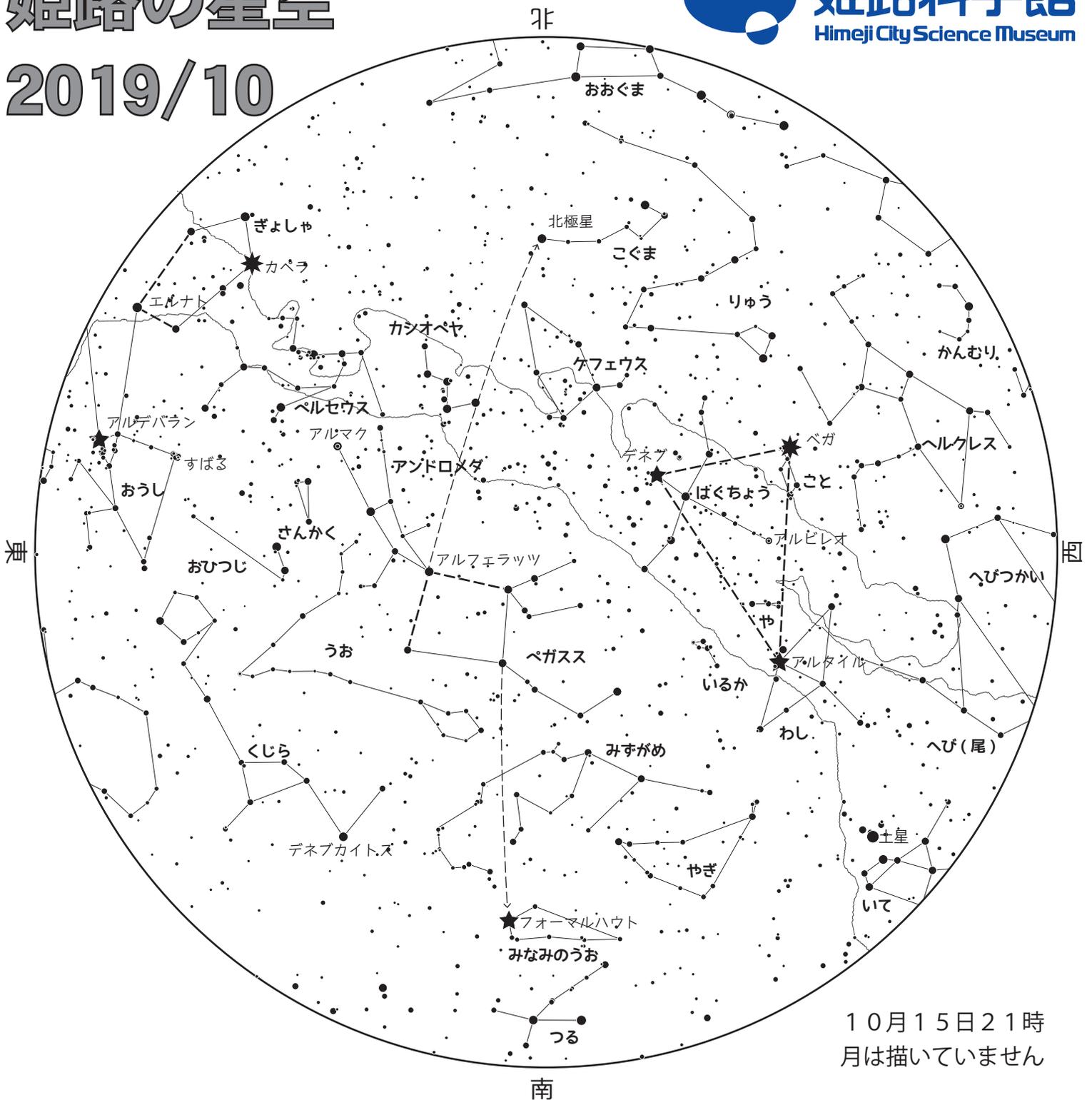


姫路の星空

2019/10



姫路科学館
Himeji City Science Museum



日没が午後5時半よりも早くなり、午後6時には一番星の木星が見えます。木星の右下に**さそり座**のアンタレスが見えるでしょうか？ さそり座の左隣の**いて座**には土星も見えます。

午後7時にはすっかり暗くなり、頭の上には夏の**大三角**が見えます。名前こそ「夏の」大三角ですが、年内いっぱいには日没後の西の空に見えます。3つの星は、**こと座**のベガ、**わし座**のアルタイル、**はくちょう座**のデネブです。

午後9時頃には東の空高く秋の**四辺形**が見えます。四辺形から「へ」の字の逆さまの星のならびをつけ足すと**ペガサス座**です。ペガサスの背中からお腹に線を引きそのまま伸ばすと、**カシオペヤ座**と**ケフェウス座**を経て北極星に届きます。カシオペヤとケフェウスはギリシャ神話に登場する古代エチオピアのお妃様と王様です。二人の間に生まれたお姫様の星座**アンドロメダ座**は、秋の四辺形からペガサスの後ろ足、またはAの字のように続きます。秋の四辺形からは、秋の星座でたったひとつの1等星**みなみのうお座**の**フォーマルハウト**が見つかります。フォーマルハウトは秋のひとつ星、南のひとつ星とも呼ばれます。

東の低空には、冬の星座の**おうし座**や**ぎょしゃ座**も見え始めています。